

Welcome!

ASTROセミナー



米国・ブラジルの
UFO公聴会について

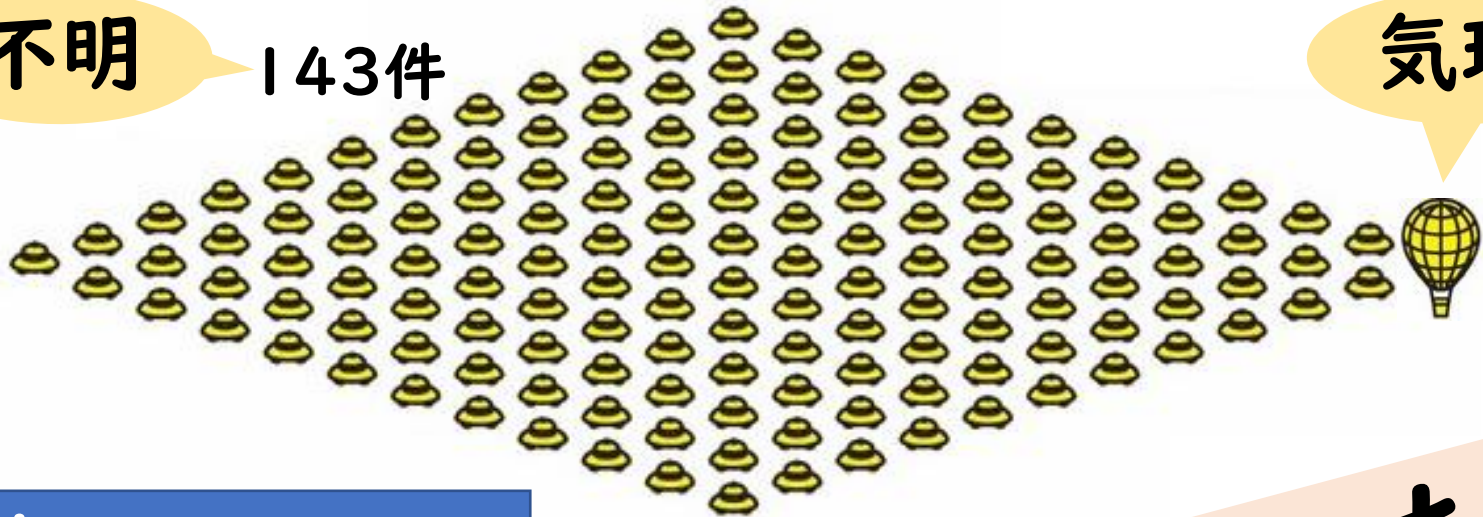


米国 UFOレポート の概要

2004年 から 2021年 までの **144件**

不明

143件



80件

複数センサーに
より追跡

18件

異常な推進技術

AAV?

Anomalous Aerial Vehicle

たった
9ページ



UAP公聽會

公聴会の概要 (22.5)

証人：**モートリー 国防次官** (情報・安全保障担当)
ブレイディ 海軍情報局 副長官

エームソグ
AOIMSG
責任者



UAPTF
管理者

～議長開会の辞～

UAPは、潜在的な国家安全保障上の脅威である。

- UAPTFの目撃情報は、400件にまで増えた。
- UAPとの交信は試みられたことはない。
- 多くのUAPは、無人機のように見える。
- 地球外の物質を示唆する物質は、発見できていない。
- スティグマ [汚名：stigma (後述)] は削減されている。
- 中国は独自のUAPタスクフォースを設立している。

- 理解にはかなりの時間と労力がかかる可能性があり、収集した情報を、あまり発表しない必要がある。

非公開での公聴会の話題

- センサーの性能変化について
- 動画を捉えた マルチ・センサーデータの概要
- 米軍以外の国内(民間)情報や 国外情報

社会的な汚名・烙印

[sociocultural **stigmas**]



- UAPの目撃は、報告したり 同僚と話題にするだけでも **誹謗中傷の材料**になる。
- 科学、政策、軍、諜報の各分野の権威が 真剣に話題にする機会が増え、こうした**烙印の影響**は減ってきている。が、
- それでも **評価リスク**は犯したくない、と**話さない目撃者**は多く、真相究明が困難になっている。





UAP公聽會

公聴会の概要 (22. 6. 24)

UFOの日
75周年



主催: ジラン上院議員

題名: **Night of the UFO's**

証人: 計9名 (ブラジル7、招聘 米国1、英国1)

元連邦副議員	銀河系での生活の可能性、 ブラジル人のUFOホット度
UFO雑誌発行	ブラジルUFOの歴史
宇宙生物学研究 調査センター員	空軍機 UFO接近遭遇 (1986.5.19)
電子技術者	UFO遭遇事件 チュパチュパ事件 (1997.4.29)
UFOライター	スピリチュアリティとUFO研究
UFO研究会 会長	ブラジルのUFO研究の事例紹介
刑事研究所 教授	ブラジルのUFOアブダクション事件
元英国警察官	グローバルなUFO事案のレビュー
元米国空軍兵	UFOと核兵器



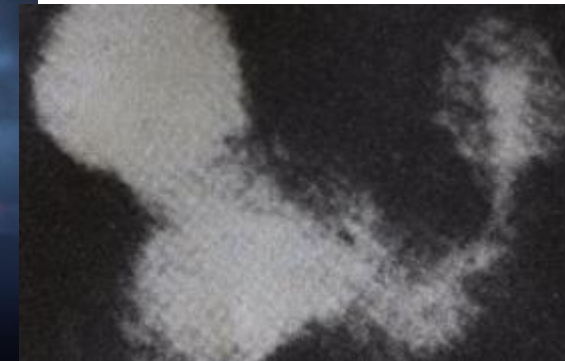
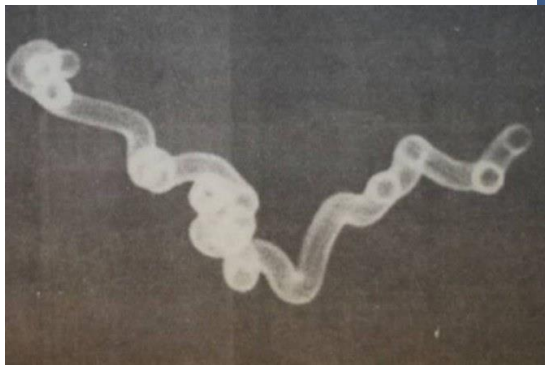
証言席

空軍機 UFO接近遭遇(1986.5.19)



ジャクソン・カマルゴ

宇宙生物学研究センター 研究員
公式文書分析スペシャリスト
UFO研究者



ミラージュF103 UFO接近遭遇時のイメージ図

- ・夕刻 サンパウロ近郊の空港管制塔で 空軍の管制官が目撃
その後、離れ去った
- ・20:00 近くの空軍訓練学校の士官候補生・将校 約200人
が光る物体目撃
- ・21:00 民間機パイロットが 同空港着陸時に、光る物体を目撃

その後 飛行中民間機からも 光る物体 目撃の報告が数件
空軍 及び 航空交通管制統合センター でもレーダー捕捉

- ・22:34 1番機 ノースロップF-5E スクランブル発進
- ・22:50 2番機、3番機 スクランブル発進
- ・22:59 3番機、搜索活動中、機体後方に多くの物体発見、
反転し 物体13機をレーダー捕捉
- ・23:09 2番機 22km先に 未確認物体をレーダー捕捉
直ぐ 攻撃態勢、マッハ1.3で 目標の9kmまで接近
未確認物体は 急加速し マッハ15で飛び去る

4日後、空軍は 止む無く 記者会見



航空大臣 リマ准将



パイロット5名

- **空軍 戦闘機5機が UFO 21機 を追跡した**
- (地球外生命体や空飛ぶ円盤を) 信じるか とか 信じないとかではない。技術情報を提供するだけだ
- いくつかの仮説があるが、**技術的には 説明できない**



ご清聴 ありがとうございます